

としょかんだより

【下條村立図書館 135号 2018年7月15日発行】

6月の終わりから降りはじめた雨は、西日本では平成最大の豪雨災害となりました。以前は「異常気象」という言葉に怖さを感じたのですが、この頃は災害が日常的になってきた日本列島。地形に恵まれるこの地域では、これまで大惨事にはならないものの、いつ起こるかわからないのが災害です。時代を経てあらゆるものを持ち手に入ってきた人類も、自然にだけは勝てないことを知らされる瞬間は、深く心に刻されます。

としょかん大好き家族 Part110 吉村さんご一家

手塚原（大洞）

手塚原で唯一、子どもがいる家…吉村さんご一家の登場です。今日も、お母さんの和恵さんと一緒にやって来たのは袋にいっぱいの本を抱えたふたりの子どもたち。いつもうれしそうにニコニコしていて、礼儀正しい兄妹です。「ありがとうございました！」と本を返して、さっそく借りたい本探しです。

長男の太希（たいき）くん（4年生・9歳）は、いま小学生男子の間で空前の大ブームとなっている『サバイバル』シリーズに夢中です。「学校の図書館でもいつも貸出中。借りてよかったです！」保育園時代からの昆虫・小動物好きもまだ続いている。カブトムシ、カエル、カナヘビ、カニ、バッタ、オタマジャクシ、ゲンゴロウ等どれだけ飼ったことか！生態・飼育図鑑もたくさん借りました！

妹の明莉（あかり）ちゃん（2年生・8歳）が今日借りたのは、『おばけマンション』シリーズの最新刊（46巻目）。読み始めたシリーズは、全部読んじゃうのが明莉ちゃん流。

最新刊が出るのを待っているシリーズがたくさんあります！小さいころ好きだったのは、しかけ絵本の多い『ねこざかな』シリーズ。でも、精密な仕掛け絵本は、貸出禁止で書庫に入っており、見られるのはクリスマスの時期だけ。でもちゃんと待っていてくれて、カウンターに出されると大切そうにじっくりと見ていました。そんな時の明莉ちゃんはとっても幸せそう…。

和恵さんは「私がうっかり本を返す日を忘れていると、子どもたちが騒ぎ出すんです。早く図書館に行かなきゃって！ずっと前に予約した本を待っていて、期限が過ぎてもなかなか返って来ないことがあって…。その時とても悲しい思いをしたみたいで、期限を守らないと悲しい思いをする人がいるからって返却期限にはうるさいんです」と話してくれました。礼儀と優しさあふれる、吉村さんご一家の「図書館大好き」は続きます！

もくじ

- 1p：としょかん大好き家族
- 2p：図書館とむらづくり②
- 3p：人形劇＆学習室利用
- 4p：新刊ぴっくあっぷ



図書館を使ったむらづくり②

村内で行われる様々な活動の過程に、図書館が関わっていたり、実は役立っていることがあります。ふだんは生活の中に入り込んで気づかない「図書館を使ったむらづくり」のようすを、地域や施設等の活動を通して紹介していきます。

みんなの家下條の「小さな図書館」

「みんなの家下條」入口のようす



みんなの家下條では、今年2月から「小さな図書館」がオープンしました。「陽臘郵便局のように本を置いて貸出させてもらえませんか?」というお話をあり、早速はじめました。

介護施設は、利用者の皆さんを迎える楽しい時間を過ごしてもらうという日常業務(デイサービス等)の他に、「地域のために役立つことをする」という役割もあるそうです。地域の皆さんと日常的につながり「もし家庭で何かがあったときに、施設を身近な場所と感じてもらえるように」との願いから様々な活動をしています。施設を知ってもらい気軽に訪れてもらえるきっかけづくりとして、日常的に『懐かしい歌とおしゃべりの会』や『小さな図書館』を開いています。

① 懐かしい歌とおしゃべりの会

毎週木曜日の10時~11時半。担当するのは、職員の前畠さんと井澤さん。参加者は地域の方が数名、福祉バスや家族の送迎で(自分で運転してくる方も)訪れ、ほぼ毎週参加しています。初めに「今週の一週間…今日は何の日?」というテーマで担当職員さんが話題提供をしたあと、童謡・唱歌・歌謡曲など12曲前後をみんなで歌います。するとデイサービスの利用者さんもやってきて、みんなで歌います。「歌が好きな方は、歌い出すと止まりません!」と前畠さん。上手に歌う必要はありません。自分のペースで好きなように歌って、自由に仲間や職員さんとおしゃべりできるので、これが至福の時間となっています。

みんなの家下條では、しもじょっこまつり、道の駅お客様感謝デイ、北又区のお祭り等では手づくりの小物販売、文化の祭典や健康を考えるつどいでは、利用者さんの作品展示などで積極的に地域と関わっています。

② みんなの家 下條「小さな図書館」

施設の入り口へ向かう途中に見える窓に「みんなの家 下條 小さな図書館」と描かれた素敵なタペストリーが掛かっており視界に飛び込んできます!入口の扉を開けるとすぐ右側に、「小さな図書館」があります。村の図書館から約50冊を借り受け本棚に並べ、誰でも利用できるよう貸出簿が置かれています。ここへ来た人が誰でも利用できるよう、設置場所はここになりました!デイサービスの利用者さん、そのご家族、地域の皆さん、職員の皆さんが利用しています。



村立図書館からの50冊が並ぶ玄関の「小さな図書館」



奥には、施設からの呼びかけに応え寄贈された本が並ぶ、憩いの部屋があります。その本も、利用者さんや職員さんなどがその場で読んだり、借りて帰ったり…。ちょっとひと休みしたい時、落ち着きたい時など癒しをくれる空間です。

「夏休み人形劇おたのしみ会」

◆ 8月7日(火) 16:30~17:30

場 所: あしたむらんど会議室

上 演: 人形劇団クスクス(秋田県)

上演作品: 「ジャックとふしぎな豆のつる」

「トッドとミミー」

対 象: 幼児~大人

*飯田人形劇フェスタ上演作品とは異なる作品です。

*ワッペンなしでご覧いただけます。(フェスタで、この劇団の作品を鑑賞するにはワッペンと観劇料が必要です)

*当日は、ブックカフェ飲み物無料サービス(30名)を行います。



あしたむらんどには、ゲーム(カードゲーム含む)の持ち込みはできません。

学習室利用についてのお知らせ

通常の土・日曜日、夏休みなど長期学校が休みになる期間は平日も、会議室を学習室として開放しています。どうぞご利用ください。

○利用可能時間: 図書館の開館時間 10:00~18:00

○休館日: 月曜日 / 藏書整理休館日(第4金曜日)ほか祝日休館

1) 本気で勉強したい方に

- ◆ 集中して学習したい方は、学習室を使うことができます。
- ◆ 図書館内は、大勢の図書館利用者が訪れるため、学習に集中できる環境がとれないことがあります。「本を借りて読んだり、人と話したりしながら勉強」という方は、図書館内の机・いすをご利用ください。

2) 行事や会議のときは、使用不可

会議室で、イベントや会議などが行われる時間帯は利用できませんので、ご承知おきください。その場合には、職員にご確認ください。

3) 学習室は飲食禁止

あしたむらんど内では、ロビーとブックカフェ、野外読書コーナーが飲食可能な場所となっています。図書館内、会議室、ギャラリーは飲食禁止となりますので、ご協力をお願いします。

行事により学習室を使えない日

7月27日(金)藏書整理休館日

7月29日(日)けん玉教室

8月7日(火)人形劇おたのしみ会

8月9日(木)図書館視察

8月24日(金)藏書整理休館日

8月28日(火)のはらうた研修

学習室を利用する方へ

- ◆ 学習室を利用するとき、退室するときには、図書館職員に必ずお申し出ください。
- ◆ 学習室内で騒いだり、飲食をしないでください。
- ◆ 学習室の電気、エアコン等を勝手に操作しないでください。
- ◆ 使用中は、必ずドアは開けたままにしてください。

新刊 ぴっくあっぷ



「罪なき子」 小杉健治作 双葉社／初秋の土曜日の午後、上野の美術館で凄惨な通り魔殺傷事件が起つた。「死刑になりたくて人を殺した」という男の心の闇に興味を抱いた水木弁護士は、自ら弁護役を買って出て…。*Fコ



「半分、青い。上」 前川奈緒ハペライズ 北川悦吏子著 文藝春秋／高度成長期の終わり、同日同病院で生まれた幼なじみの律と鈴愛。夢を抱え、バブル真っただ中の東京に出た2人を待ち受けるのは…。片耳を失聴したヒロインの、愛と勇気の物語。NHK連続テレビ小説を文庫化。*BFマ



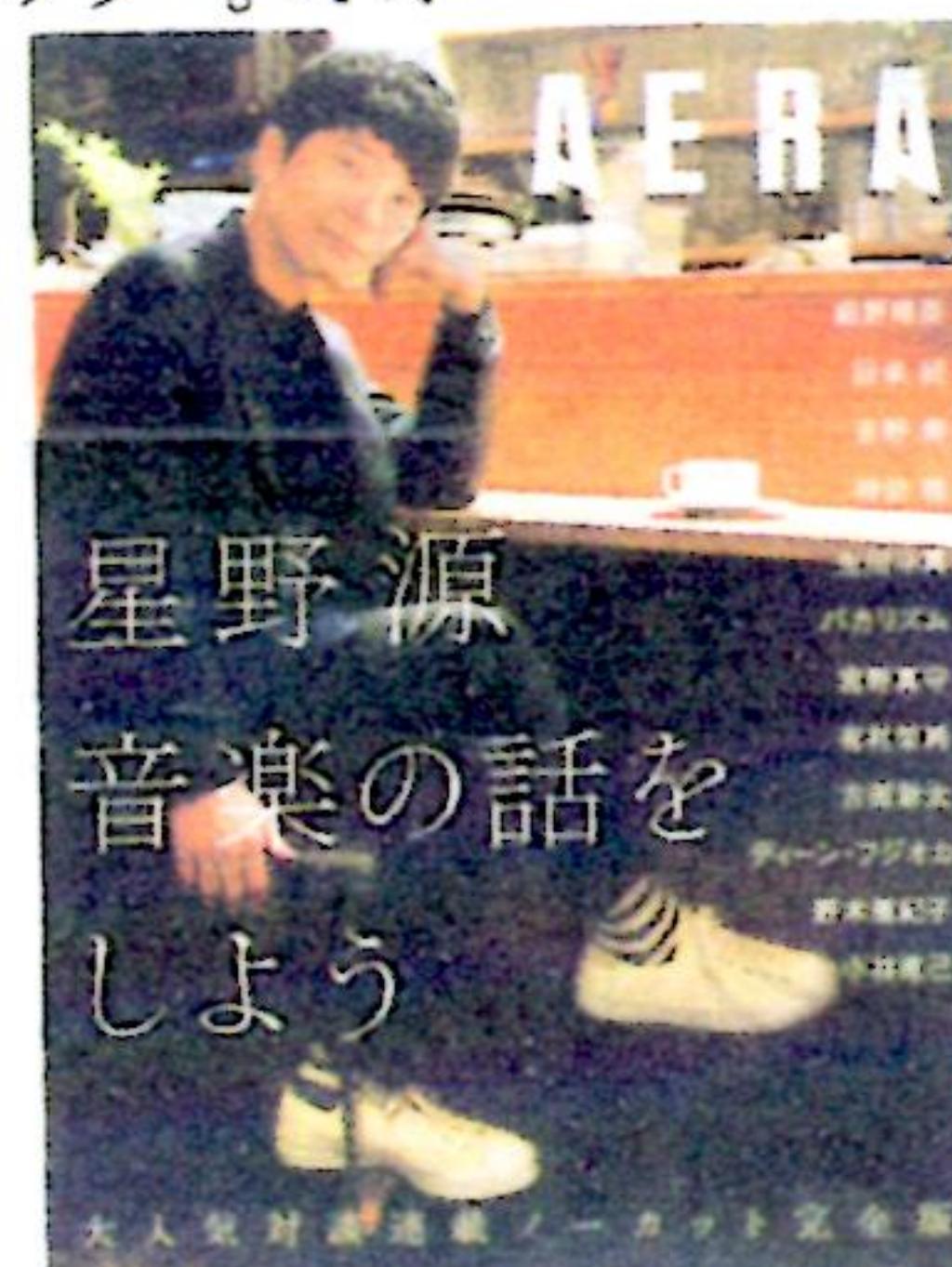
「MARCH 1 非暴力の闘い」 ジョン・ルイス他作 岩波書店／南部の農場で生まれ育った黒人の少年は、いかにして差別に対抗する非暴力の手法を学び、運動に身を投じたのか。アメリカの公民権運動の流れを、その当事者ジョン・ルイスの目線で振りかえったグラフィック・ノベル。*316ル



「佐々木正美の子育て百科 入園・入学前に親がしておきたいこと」 佐々木正美著 大和書房／急がなくても大丈夫です。子育てに近道はありませんー。しつけることと叱ること、子どもがウソをついたとき、園が楽しくなるために必要なこと…。子どもの心の名医が、子育ての大切な基本を教えます。Q&Aも収録。*379サ



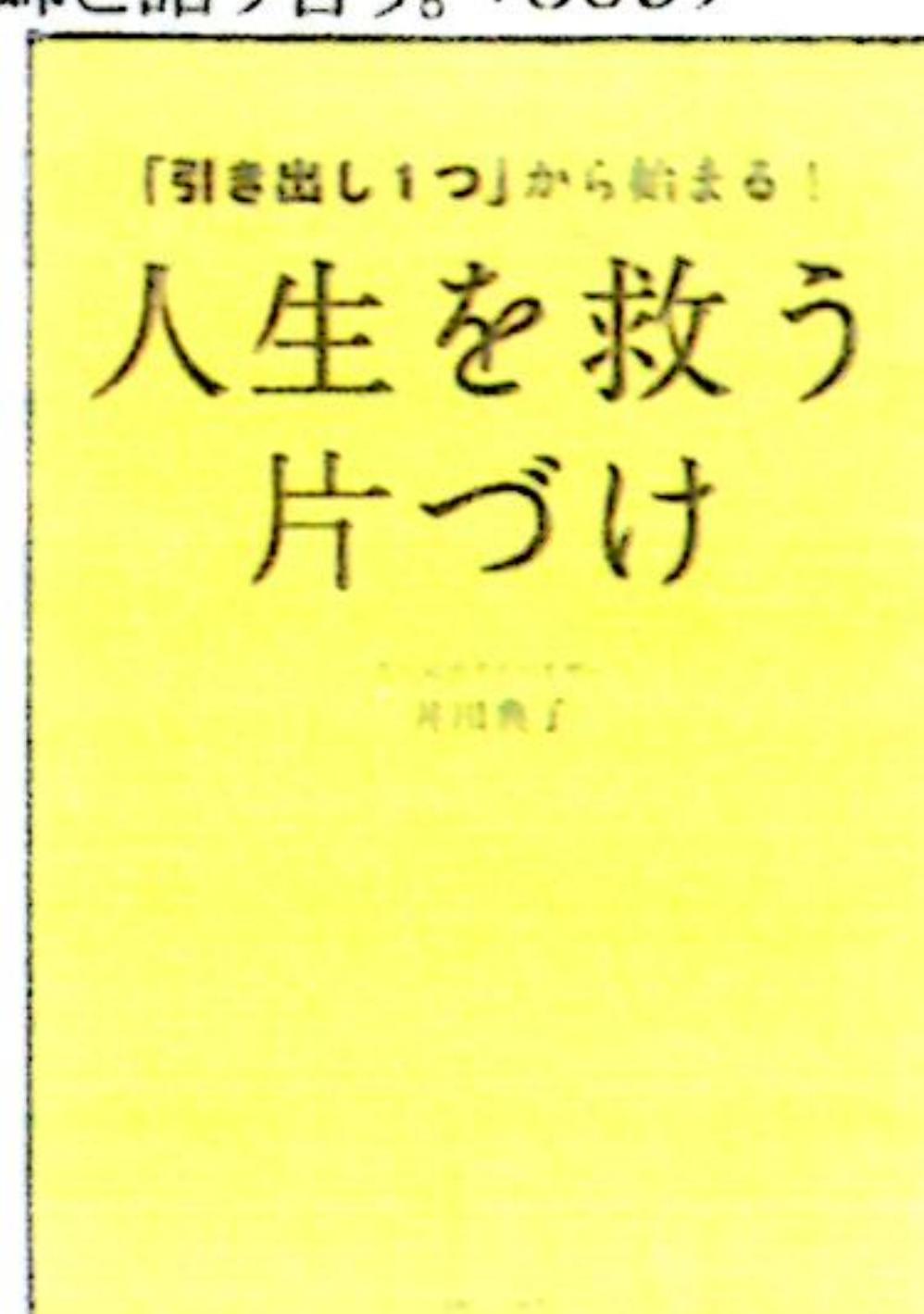
「ポストカブセル」 折原一著 光文社／ラブレターが、遺書が、脅迫状が、礼状が、文学賞の受賞通知が、15年遅れて届いたら? 心温まるはずの善意の企画の裏に、驚愕の真相が…。騙りの名手によるミステリー。*Fオ



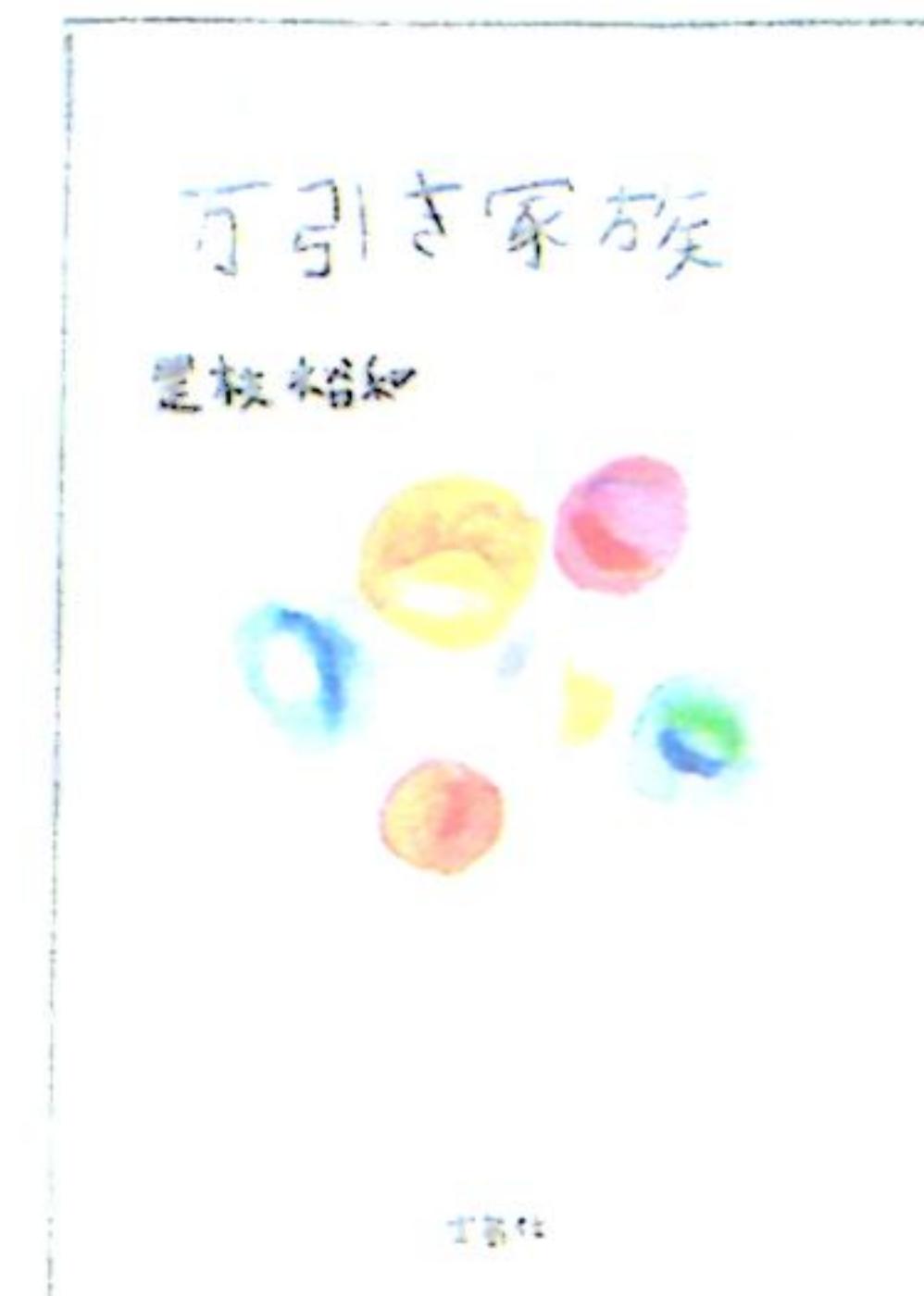
「星野源 音楽の話をしよう」 星野源著 朝日新聞出版／何気ない会話は、その人のパーソナルな部分をそっと伝えてくれる。星野源が、細野晴臣、生田斗真、宮野真守、ディーン・フジオカラと喫茶店のカウンターで肩を並べて音楽について語り合う。*764ホ



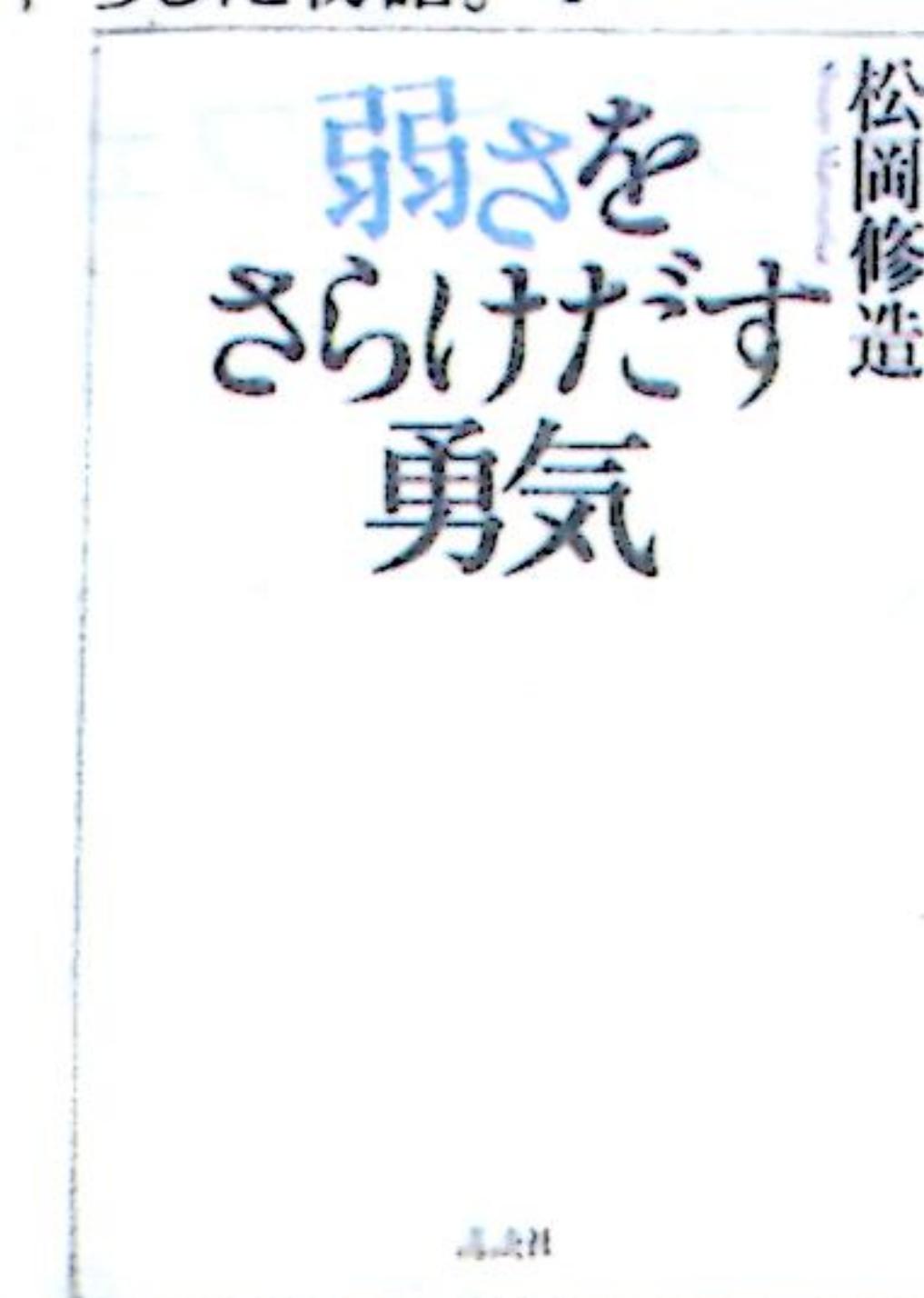
「見る力 アガワ流介護入門」 阿川佐和子 大塚宣夫著 文藝春秋／親＆伴侶の正しい介護法、理想的な老後の生活術ー。作家、インタビュアーとして活躍する一方、父を見取り、認知症の母の世話をする阿川佐和子が、高齢者医療の第一人者である大塚医師と語り合う。*369ア



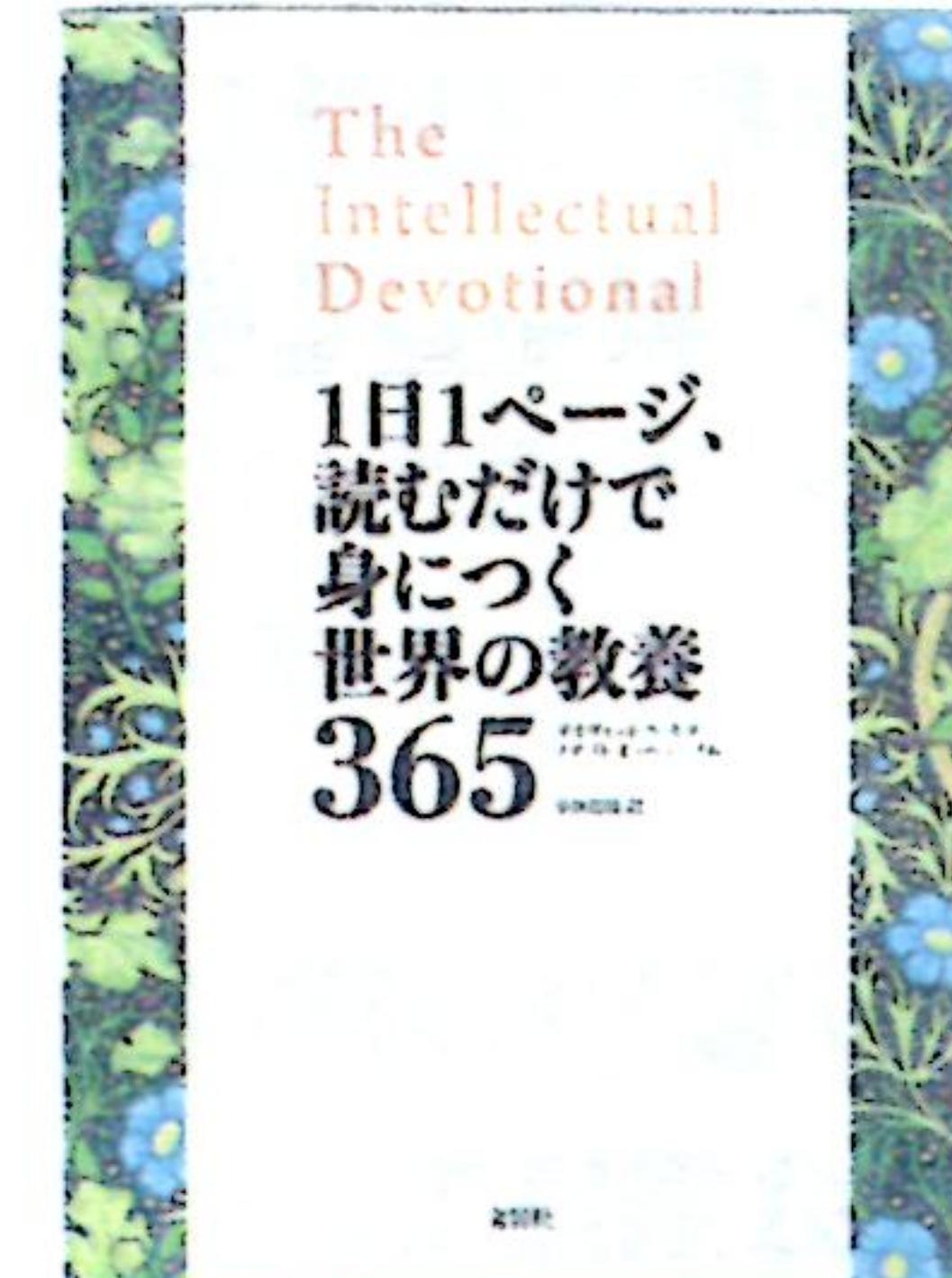
「『引き出し1つ』から始まる! 人生を救う片づけ」 井田典子著 主婦と生活社／ストックはしない、「囚われの服」を増やさない、小さな動作を見直す…。整理収納アドバイザーである著者が、モノと心が整う片づけの考え方を中心に、婦人団体「相模友の会」で学んだ家事の考え方、日々の暮らし方などを綴る。*590イ



「万引き家族」 是枝裕和著 宝島社／高層マンションの谷間に取り残された平屋に住む、夫婦と息子、妹。彼らの目当ては祖母の年金。足りない生活品は万引きで賄う。家族は「犯罪」でしかつながれなかつた…。2018年6月公開映画を監督自らが書き下ろした物語。*Fコ



「弱さをさらけだす 勇気」 松岡修造著 講談社／弱さがあるから、僕たちは強くなれる！羽生結弦、高梨沙羅、錦織圭らさまざまなアスリートや自身の経験を紹介しながら、心の弱さとの向き合い方や、乗り越えていくための方法を紹介する。*159マ



「1日1ページ、読むだけで身につく世界の教養365」 ティヴィッド・S. キダー著 文響社／歴史、文学、芸術、科学、音楽、哲学、宗教。1週間で7分野。毎日1ページずつ知性を鍛え、頭脳を刺激し、教養を高めるための読み物を1年分収録する。*033キ



「農薬に頼らない病虫害対策 おいしい野菜をつくる防除と対処法」 木嶋利男著 学研プラス／病虫害対策でもっと大切なのは、さまざまな生き物が棲める畑づくりをすること。野菜につく代表的な病気と害虫から、科目別＆野菜別の病虫害対策、病虫害を出さない無農薬の裏ワザまで、写真やイラストで解説します。*626キ